

## 発表内容の概要



水谷 知生 氏((公大)奈良県立大学 地域創造学部 教授)

タイトル : 「自然資源の観光利用の経過と今後ー国立公園などを例にー」

### 【概要】

訪日外国人旅行者の増加が謳われていますが、昭和初期にも外客誘致政策が進められました。その時期には国立公園が設置され、自然資源の本格的な観光利用が開始されます。その後、現在に至るまで自然資源はどのように捉えられ、利用されてきたのか、その経過を明らかにするとともに、今後について考えたいと思います。



村上 忠喜 氏(京都市歴史資料館 担当係長)

タイトル : 「まつりと観光ー祇園祭の後祭復興を中心にー」

### 【概要】

7月の京都の町を彩る祇園祭は、2014年から49年ぶりに後祭が復興し、神幸祭に伴う前祭と、還幸祭に伴う後祭という、中世以来続いてきた形式に戻りました。重要無形民俗文化財である山鉾行事の変更は、当事者(保存会や行政など)にとって集客力の維持が可能かどうか大きな賭けでもありました。この祇園祭の一大変更を中心の素材として、文化財としての側面をもったまつりと観光をめぐる、様々な葛藤・対抗や融和についての話題を紹介します。



藤本 弘道 氏(株式会社 ATOUN 代表取締役社長)

タイトル : 「"Old Meets New" で創造する新たな観光資源」

### 【概要】

株ATOUNでは、2003年の創業以来、力の面での障壁が無い“パワーバリアレス社会”の実現を目標に、人の運動能力をアクチュエータのパワーや制御技術で増幅(または補完)するパワーアシスト機器の事業開発を行っています。一部の作業現場において作業補助を行うパワーアシストスーツを製品化しています。パワーアシスト技術などのロボット技術を利用した新しい観光資源の可能性についてお話しします。



内田 忠賢 氏((国大)奈良女子大学研究院教授 観光学術学会評議員 他)

タイトル : 「イベント・レジャー・サイトシーイングの地域文化論」

### 【概要】

今回のパネルディスカッションの進行を務めます。水谷氏からは、国立公園や世界遺産をはじめとする「環境と文化資源」、「地域の魅力」について、また、歴史文化財の最前線で活躍される村上氏からは、「文化財の保護と活用」について学ぶことができ、それと同時に「博物館等における学芸員の仕事」への理解も深めてもらえると思います。お二人のご講演に対し、ものづくり現場におられる藤本氏から、新たな視点の貴重なコメントを聞くことができると思います。そして、フロアの参加者の皆さまからの活発な意見や質問への回答を通じて、有意義な時間となることを期待しています。